

# 〔 病院の理念 〕

地域住民と勤労者の皆様に  
良質で安全な医療を提供します。

# 〔 基本方針 〕

- 患者さんの権利を尊重し、患者さん中心の医療を提供します。
- 地域医療機関との連携を重視し、中核病院として高度専門医療を担います。
- 働く人々の健康を守り、治療と仕事の両立を支援します。
- 患者さんに寄り添う心と、高い技能を兼ね備えた医療人を育成します。
- 経営基盤が安定し、働き甲斐のある病院づくりを目指します。

# [ 病院の概要 ]

- 1 開設
- 2 病床数
- 3 診療科

昭和24年2月17日

九州労災病院

450床

- ① 診療科目（22診療科）⇒ 地域医療の中核的役割の推進  
内科、消化器内科、循環器内科、精神科、脳神経内科、小児科、外科、  
消化器外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、  
眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、  
病理診断科、救急科、麻酔科、歯科口腔外科
- ② 専門センター ⇒ 勤労者医療の中核的役割の推進  
勤労者骨・関節疾患研究センター、勤労者リハビリセンター、  
勤労者脳神経センター、アセス疾患センター、関節再建センター  
  
（併設）治療就労両立支援センター

# [ 主な指定 ]

- 臨床研修指定病院
- 地域医療支援病院
- がん診療連携拠点病院
- 健康保険法に基づく保険医療機関
- 国民健康保険法に基づく療養取扱機関
- 感染症法に基づく結核指定医療機関
- 生活保護法に基づく医療機関
- 原爆被爆者一般疾病医療機関
- 自立支援医療機関（精神通院療法）指定病院
- 自立支援医療機関（育成医療・更正医療）指定病院
- 救急告示病院
- 災害拠点病院
- 福岡県災害派遣医療チーム（DMAT）指定医療機関
- 看護教育実習指定病院
- 身体障害者福祉法に基づく更正（育成）医療機関
- 覚醒剤取締法に基づく国の開設する覚醒剤施用機関
- リハビリテーション総合承認施設
- 母体保護法第14条指定医療機関
- 産業医科大学関連病院指定
- 労災保険指定医療機関

# [ 施設認定 ]

日本内科学会認定医制度教育関連施設

日本糖尿病学会認定教育施設 I

日本消化器病学会専門医制度認定施設

日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設

日本循環器学会認定循環器専門医研修施設

日本血液学会認定血液研修施設

日本呼吸器学会関連施設

日本呼吸器内視鏡学会

気管支鏡専門医制度関連認定施設

福岡県肝疾患専門医療機関

日本外科学会外科専門医制度修練施設

日本消化器外科学会専門医修練施設

呼吸器外科専門医合同委員会呼吸器外科関連施設

日本がん治療認定医機構認定研修施設

日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設

日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設

日本神経学会認定専門医制度准教育施設

一次脳卒中センター

日本老年医学会認定施設

日本脳神経外科学会専門医認定制度研修施設

日本脳神経血管内治療学会研修施設

日本整形外科学会認定研修施設

日本手外科学会認定手外科研修施設

日本リウマチ学会認定教育施設

脊椎脊髄病学会専門医基幹研修施設

JCOG骨軟部腫瘍グループ参加施設

日本救急医学会救急科専門医指定施設

日本リハビリテーション医学会認定研修施設

日本皮膚科学会認定専門医研修施設

日本泌尿器科学会専門医教育施設

日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設

日本眼科学会専門医制度研修施設

日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設

日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関

日本病理学会研修登録施設

日本臨床細胞学会認定施設

日本臨床細胞学会教育研修施設

日本麻酔科学会認定麻酔科病院

日本集中治療医学会専門医研修施設

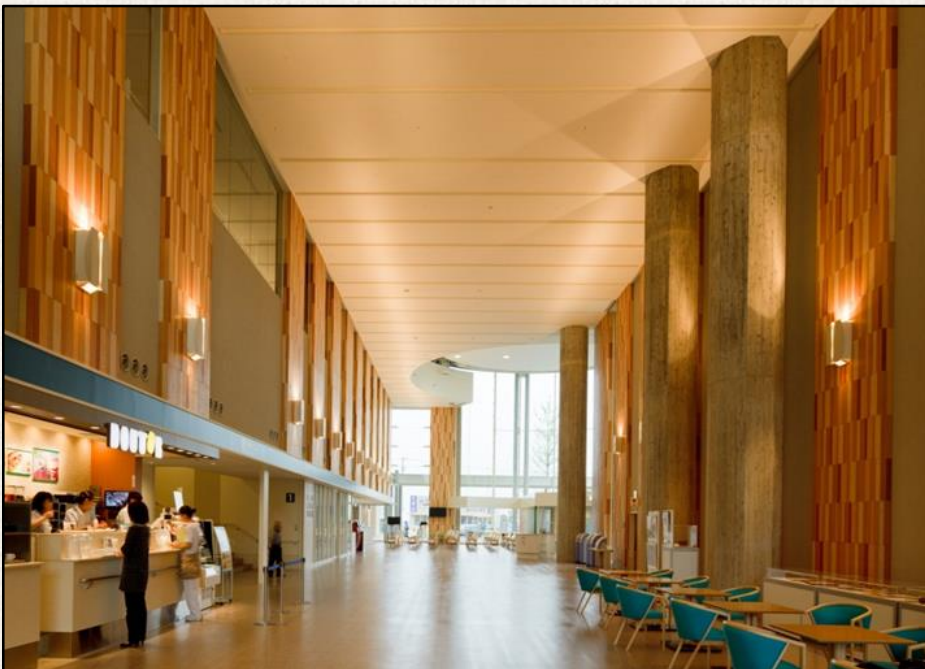
日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師研修施設

日本医療薬学会認定薬剤師制度研修施設

日本医療薬学会

がん専門薬剤師認定制度がん専門薬剤師研修施設

# [ 1階エントランス ]



# [ 1階外来ブース ]



# [ 病棟・分娩棟 ]



# [ 地域における中核病院 ]

当院の高度・急性期に対応する診療機能と実績が評価され

『地域医療支援病院』 『災害拠点病院』  
『がん診療連携拠点病院』 として指定されています。

令和2年4月現在、DMAT隊員12名在籍。

(医師3名、看護師6名、業務調整員3名)





# [ 主要な診療科等の特徴 ]

## 1 整形外科部門

開設当初から労災病院設置の目的である被災労働者治療の中心的な診療部門として活動し、現在、豊富な症例をもつ九州地区屈指の病院。

年間手術件数は3,000件を超え、あらゆる年代、部位に対応可能。

平成28年4月からは骨軟部腫瘍外科を新設し骨腫瘍領域にも対応。

## 2 リハビリテーション部門

我が国のリハビリテーションの指導的役割を担い、リハ医学の発展に大きく寄与。

現在は、最先端の設備・機器を導入し理学療法・作業療法はもとより、義肢・装具の製作に至るリハビリテーションのあらゆる機能を備え、整形外科疾患・中枢神経疾患・循環器疾患等の多様なニーズに対応したリハビリテーション医療を展開。

### 3 脳神経部門

脳神経外科、脳血管内科、脳神経内科、放射線科、リハビリテーション科という脳疾患に関する全ての専門家・専門医からなる「**勤労者神経センター**」を設置。**脳卒中から難治性神経疾患まで**全ての神経疾患に対して専門的治療が可能。

### 4 救急部門

北九州市（中でも小倉南区）及び京築地区の救急隊との連携を強化し、**常勤救急専門医**も確保したことから、年々救急搬送件数が増加している。

応援医師（非常勤）も年々増加（現在3名）。

### 5 内科部門

**悪性腫瘍、動脈硬化及び生活習慣病の増加に対応するため、消化器（消化管、胆膵、肝臓）、循環器、糖尿病、膠原病、呼吸器、血液等**の専門医が在籍。

### 6 外科部門

平成27年12月に消化器外科を標榜し、胸腔鏡、腹腔鏡を用いた**鏡視下手術等の低侵襲手術**を積極的に推進。

## 7 がん診療体制

平成23年5月の新病院移転を機にリニアックの導入、外来化学療法室（令和元年度12床に増床）の充実を図るなど、従来の外科的治療（手術）に内科的治療（化学療法）、放射線治療を加え、着実にがん診療体制を拡充。

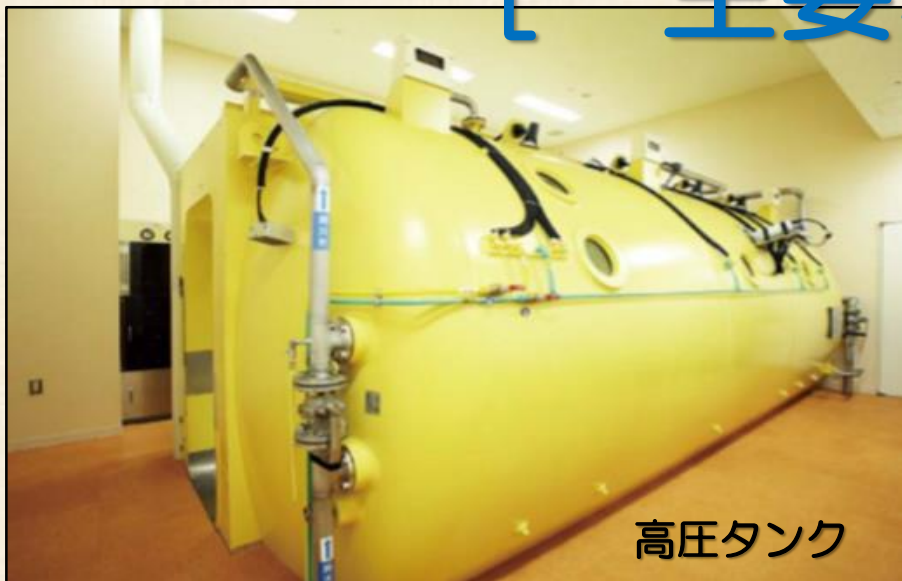
がん看護専門看護師1名、がん化学療法看護認定看護師1名、がん放射線治療認定看護師1名、緩和ケア認定看護師1名が在籍し、その他がん化学療法認定薬剤師、がん相談支援員等多職種でチーム医療を行う。

令和2年4月地域がん診療連携拠点病院指定。

## 8 高圧医療部門

9名が同時に治療できる大型の高圧治療タンクを設置し、減圧症、一酸化炭素中毒、突発性難聴等の治療に効果を発揮。（耳鼻咽喉科常勤医師のいるタンク保有施設は稀少）

# [ 主要な設備 ]



高圧タンク



リハビリテーション訓練室



屋上ヘリポート



リニアック

# [ 職 員 数 ]

	正規職員	嘱託職員等	計
医 師	92	23	115
看 護 職	424	52	476
医 療 職	100	20	120
技能業務職	4	1	5
事 務 職	31	48	79
計	651	144	795

令和 2年 4月 1日現在

# 平成23年5月 移転



移転前



移転後

# [ 診療圏における医療機関の状況 ]

2次医療圏内の競合病院の分布状況（当院から10km以内）



# [ 地区別入院患者比率 ]

実患者数による H27年3月 ⇒ H28年3月

